令和８年度入試 総合型選抜試験 国際文化学科・情報社会学科 講義

1. 講義のテーマ

「言葉と情報から考える国際文化学」

2. 講義の意図

講義は以下の意図をもって構成しており、講義を聞いた後の60分間で書くレポートや5分間のプレゼンテーションにつなげていくためのヒントも与えるようにしている。

① 人類の歴史を概観しながら言葉と情報の発達がもたらしたものについて振り返りつつ、グローバル化・高度情報化の進む社会に生きる自分の立ち位置を知ること

② 「言葉と情報について考えるときに注意すべき点」や「国際文化学を学ぶ人が注意すべき点」について講義の中で紹介する理論を理解するとともに、自らが出願した各学科(国際文化学科・情報社会学科)でどう学ぶべきかの姿勢や態度について考えること

③ これからの世界・社会について考えたりイメージを膨らませたりしながら、興味関心のあるテーマを1つあるいは2つ以上抽出し、レポートで自らの考えや意見を述べるための準備をすること